



箱根駅伝で区間賞を獲得

東洋大学3年の野村峻哉選手（有明中出身）が箱根駅伝に出場し区間賞を獲得しました。

1月6日、野村選手が市長室を訪れ、今年の箱根駅伝9区での区間賞獲得を報告しました。3位でたすきを受けた野村選手の快走により、チームは2位に順位を上げました。「来年は総合優勝を目指してエース区間で区間賞を取れるように走りたい」と4年生になる来年に向けて抱負を話しました。



障害者スポーツ大会で金メダル

持留慎吾さん（志布志町志布志）が第16回全国障害者スポーツ大会において金メダルを獲得しました。

10月22日から24日まで、岩手県で開催された同大会に出場した持留さんは、フライングディスクの飛距離を競う競技で金メダル、またゴールを狙う競技でも銀メダルを獲得しました。持留さんは「5月に行われる県大会に向けて、これからも大好きなフライングディスクを頑張りたい」と話しました。

寒い中、熱戦が繰り広げられました

第1回志布志武道館旗争奪剣道大会が開催され県内外から160チーム、約千人の少年剣士が参加しました。

12月24日、志布志運動公園体育館で開催された同大会に幼児から中学生まで、遠くは北九州からの参加がありました。大会を主催する志布志武道館の関係者は「地域の寄附や出店など多くの方々を支えられました。おもてなしの精神と感謝の気持ちを大事にする大会です」と参加者を歓迎しました。



小・中学生混成チームが大活躍

第11回鹿児島県U-14クラブチャンピオンシップバレーボール大会で準優勝し、九州大会出場を決めました。

10月29日、30日に14歳以下の大会が霧島市で開催されました。小学生が必ず1名コートに入る難しい大会に、宇都中バレーボール部1、2年生を中心に野神小、蓬原小、安楽小の6年生各1人を加えた混成チームが出場、準優勝し3月に開催される九州大会への出場を決めました。



3行詩で厚生労働大臣賞を受賞

黒拓真君（有明小2年）が楽しい子育て全国キャンペーン3行詩、小学生の部で厚生労働大臣賞を受賞しました。

1月13日、家族と共に教育長室を訪れ、12月24日の東京都での受賞式で受賞したことを報告しました。受賞作品は、学校までの道のりが遠く「歩いて登校するのは少しきつい」という拓真君が、いつも一緒に歩いて登校してくれるお兄ちゃんの優しさを3行の詩にしています。（23ページに掲載）



熊本地震被災地にプレゼント

熊本地震で被災した益城町の保育園、幼稚園全23か所、1630人の園児にクリスマスプレゼントを届けました。

12月19日、市商工会、市観光特産品協会、市内郵便局長などの有志が、「志武士ししまる」とともにプレゼントのお菓子を届けました。また、宇土市の仮設住宅にもお菓子やおもちゃ、絵本を届け、子どもたちに喜ばれました。有志の皆さんの活動は炊き出し等を含め今回で13回目になりました。

消防団員が勢ぞろいしました

やっちくふれあいセンターにおいて平成29年志布志市消防出初式が開催されました。

1月8日、城山総合公園で予定されていた規律訓練や放水演習は雨の影響で中止になりましたが、やっちくふれあいセンターで式典が行われました。オープニングでは山重小学校少年消防クラブによる規律正しい訓練が披露され、また日本消防協会会長表彰伝達をはじめ、各種表彰が行われました。



子ども食堂が初めての出張

志布志子ども食堂が旧JA森山事業所（志布志町内之倉）に出張オープンしました。

12月23日の商店街での開催に続き、12月26日に同会場に出張してオープンしました。これは、ふるさと大使の田浦天志さんの呼びかけで食材やボランティアを集め、同会場で開催される高齢者サロンに併せて実施したもので、地元の子どもやサロンの参加者等約50名が美味しいカレーを楽しみました。

